

体育館床材を使ってワークショップ～思い出の物語をつくろう～

体育館取り壊し！

そのまま壊すなんてもったいない！

そうだ、作ろう！心にのこる

僕たち、私たちの思い出の体育館！

神原小学校は那覇市のモデル校だったので、体育館もかなり立派な材を使って建てられたそうです(ガバザクラ)。小学校創立60周年を迎え、卒業生を含めこれまで多くの子ども達、地域の人達に活躍の場を提供してくれた体育館の取り壊しが始まりました。汗も涙も笑いも夢もたくさん、たくさん育ててくれた体育館。新しく生まれ変わるには取り壊しが必要！わかってはいても寂しさが残ります。

そこで、体育館の床板を利用して子ども達と一緒に思い出の物(例えば、キーホルダー、コースター?など)を作りいつまでも手元においておけるようなワークショップを何とか展開することができないかと考え今回の提案に至りました。

昨年度、浦添市の港川小学校で体育館取り壊しに際し、保護者が中心となり総合学習の一環としてワークショップを展開したという話を耳にしました。そんな話を聞いた後だったので、ますます、自分達の体育館に対して何かできないか、このような取り組みはどうかと、一人で焦っていた所でした。

今や使い捨てが当たり前の時代。捨てたり買ったりするのは簡単です。でも、学校生活の中で自分達が使ってきた場所、お世話になった場所を大切に、ひいては物を大切にするという意味で、子ども達に働きかける良い機会ではないでしょうか。ただ、うるさい工事だな、ではなく、体育館が形を変えて自分達の手元に残るんだ、なんて思える心が育ったら嬉しいです。

先日、取り壊しに関する説明会の時に業者さんと直接話をする機会があり、その後思いのほか早いテンポで進み、パールを使って可能な限り一枚ずつ丁寧にはがし、まとめていただきました。工事とは一切関係のない工程を聞き入れてくださったのです。

とりあえず 1m×10メートル の2枚分(なるべくバスケやバレーなどのコートの線が入るようにお願いしました)をお願いしました。

何をどのように、どのくらいの人数規模でやるか。場合によっては、材が足りるか足りないか予想が付きません。それでも「つくる」という事の良い機会だと思っています。

- 1 約10cm幅× 2メートル弱の材をまとめて保管 →保管場所は教頭先生にお願い済
- 2 2019年度内か次年度か、ワークショップ（3年生までは保護者同伴）
（場合によっては来年夏休み企画か？）

以下、原田さんが提案をしてくださいました。

全校児童がワークショップ参加の場合。

- ①次年度年間計画に入れてもらい、授業参観日に行く。
- ②全学年が学年レクとして取り組む（学年委員さんは企画しなくても良いので楽）
- ③ 次年度の神原っ子祭りは出来ないと思うので、祭りの代わりとしてPTAが主催する。

出来れば、全学年が関わるといいかと思っています。上記をふまえてどういう呼びかけがいいか。時期はいつ頃がいいか（学校行事との関係など考慮）

*確認が必要なこと

学校の機械や場所を借りる

糸ノコを使えるか？使う場合の替え刃代

どういう形に作り上げるか～

ワークショップ参加費

ワークショップをする為に外部講師を呼ぶ必要があるか、その時には謝礼が出せるか

保護者内でボランティアでワークショップ講師的な事をしてくださる方を探す
（募る？）

2019年10月9日

盛口 佳子（2年2組保護者）

～床板（廃材）リユース プロジェクト～

築 40 年の体育館の思い出

しっかりした床材（ガバザクラ）

廃材利用し、神原小学校へプレゼント

→

使い捨ての時代にいる私達の生活をふり返る！

物を大切にする心を育む

物が生まれ変わることを身近に感じられる

<リユース案>

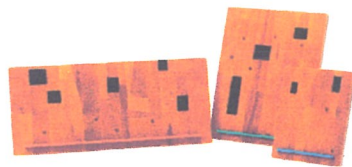
① ドミノ牌作り～できるだけ作って、遊び終わったら学校に寄贈／思い出記念キーホルダーにする

② 掲示板、教室のクラス表示他・・・玄関前、校門入口掲示板、

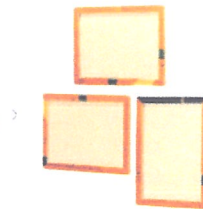
「〇年〇組」「ワークスペース」「職員室」 など



額縁 1



ブックスタンド



額縁 2



イス

上記のような作品作りをしているお店もあります。

<https://jiyugaoka.keizai.biz/headline/1628/> 参照～自由が丘ショップ（↑ロッカー、本立て、ベンチ等）

《案 1》 次年度、全学年で合同学年レクとして制作に取り組む。

A 同日に行う～学校に年間日程に組み込んでもらえるか要相談

B 学年委員、各学年保護者が主体となる（2019年度の学年委員長さんと共有体制をつくり、ぜひ、新年度の各学年委員に引継ぎをお願いしたい。新年度に話し合い、方向を決める）

① 案の場合～高学年に牌の図案を考えてもらう。／各学年で図案を考える／

② 案の場合～各クラスでグループに分かれて作業

③ ①②同時案？

《案 2》 授業参観日に組みこんでもらう 他

★いずれも場所の問題はありますが、とにかく先生方、保護者のご協力がなければできません。

(メリット)

*低学年も制作に関わることができる。

*学年レクを一度で終わらせることができるきょうだい児の多い家庭では、何度も行事に休みを取られずに済む。

*小学校へのお返し～自分達が使っていたものが一部でも目に見える形として残る（思い出作り）。

*新年度学年委員長さん達が学年レクを考える手間が省ける～学年委員を勧めやすい etc.

立ち上げ実行委員【盛口佳子（2年）、豊平憲光（4年）、金城りか（3年）、島袋玲子・有太1、3年）、
花城しんじ（1、3年）、萩原恵（2、4、6年）】

体育館取り壊しにともない、廃棄処分となる床材のリユースプロジェクト

立ち上げ実行委員代表 盛口佳子

2019年度10月、保護者有志による体育館床材リユースプロジェクトを立ち上げました。しかしコロナ禍のもと、当初計画していた学年～全校レクリエーションとしての教室掲示板作りはできなくなりました。2020年の夏休みにはできるだろう、冬休みにはできるだろうと希望を先のぼししてきましたが、落ち着くところをみせないコロナ状況をふまえ、プロジェクトメンバーで教室掲示板だけでも作ろうという事で、お互いに時間の都合がつく限りでの活動を開始しました。

「出来る人が、出来る事を、出来るだけする」「誰にとっても負担とならないようにプロジェクトをすすめよう」をモットーに、約1年半かかりでの活動となりました。

教室の掲示板のみですが、今後、時間が許すかぎりで玄関青タイトルの掲示板枠、各階にある掲示板枠に、細かく切った床材の木片を貼ってゆく作業をしていきたいと思います。

しかしながら保護者有志だけでは、ここまでやってくることは出来ませんでした。これまでに沢山の方々の力を借りながらの作業でした。

令和元年9月27日、体育館取り壊し（神原小学校屋内運動場等建設事業）説明会が行われた日、建設会社の方にまず、床材を別途取っておいてもらう事が可能かどうか、無理を承知でお願いをしました。当時の教頭先生がその場でつなげてくださったのが建設工事全般を引き受けられていた山一開発の山田紀之さんでした。この方がとても快く引き受けてくださいました。ただ体育館の2階の取り壊し前には済ませなくてはならず、材を受け渡してもらう日程の段取りをつけるために工事中の体育館を訪れると、暑い中で床をはがす作業を作業員一人の方が手作業で、しかもボランティアで一枚ずつバールを使ってはがしてくださっていました。その後の材の運び出しには、当時の教頭先生はじめ、諸先生方にお世話になりました。

やろうとしている事にどのくらいの材が必要かがわからず、ざっと5×6メートル枠ではがせるだけ取ってほしいと伝えました。体育館の床材は一枚一枚強力な接着剤で固定されており、しかも土台に打ちつけるくぎも特殊で簡単には取れないことが良く分かりました。それでも汗だくになりながらも、何十本も取り外し運んでくださっていた作業員の方に深く感謝しています。余計な手間をかけたのですが、この方のおかげでこのプロジェクトが前に進むことが出来ました。

私事ですが、プロジェクト内容に賛同し集まってくれた保護者有志の方々も、都合をつけては休みにもかかわらず、また1日作業となる日も嫌な顔をせず、むしろ楽しんでくださっていた事をありがたく思います。プロジェクト内容を理解し共感してくださったからこそその時間だったと思います。とても貴重な時間を私自身がもらう事ができました。

最後にこのプロジェクトを立ち上げた際、子ども達の為にと応援をしてくださった前校長先生、前教頭先生、ならびに話を聞いて下さった2019年度PTA役員の皆様、記録として写真撮影を承諾して下さった現場監督さん、本当に有難うございました。2021年度、校長先生、教頭先生、教職員の皆さま、今後も子ども達の活動を見守りつつ、子ども親も楽しめる学校生活を応援させていただきたいと思います。
体育館床材リユースプロジェクト立ち上げ実行委員：盛口佳子（4年）、豊平憲光（6年）、島袋尚（6年）、金城りか（5年）、島袋玲子、島袋有太（3年、5年）、花城しんじ（3年、5年）、

萩原恵（4年、6年）、糸数愛乃（6年）